SYNCHROCORD 7
you nanagami presents
adult only

02
SYNCHROCORD 7
you nanagami presents

いつも上手く行かない、どうせ成功しないと言う考え方で色んな物事に取り掛かる、常にマイナス思考からのスタート、それによって最悪の状況に陥ったとしてもそれに対処できるように覚悟が出来てるので、その考え方も悪いとは思わない。むしろぬか喜びをなるべくしないようにしないように注意しながら物事を進めるので大きながっかりは無いと思う。ところが作品に関しては期待する目標にするイメージが先行しすぎるから、これではダメだ書に足りないもうちょっと改良しなければならないとか思い悩んでしまってなかなか取り掛かれなくなってしまってる。完全にマイナス思考がスタートダッシュというのを拒んでいる。一番早く動いて動かないといけないのにそれが完全にしないように努力してるマイナス思考の俺がいる。自分で自分の足引っ張りまくってる、つくづくそれを痛感した。とにかく書き始めるまでが長い死ぬほど長いウンザリするほど覚悟が決まらない。始まらないと言うのが俺の一番克服しないといけない弱点だって思う。だから今回は考え方を変えました。上手く書こうとするからなかなか始められないなら・・・上手く書かないようにしよう。別に上手く書かなくてもいいじゃんって感じで始めるように努力をして見ました。結局的にというか最終的には上手く書こうとするのだけれど、とにかく始めだけは上手く書かないという感じで始めてみるということをやってみました。これがなかなか良かった。結果とか成果とかはいまいち解らないのですが、俺が本当に書きたいものというのが絵ではないと言う事に気付かされました。漫画なのに書きたいのは絵ではないと言うのに気付いたのはかなりの発見でした。ずーと俺は絵を書きたい漫画は絵を書いて何ぼなもんだって思っていたのでその発見は新鮮でした。　2009.2.1七神奏

SYNCHROCORD 7.1
asuka slave project

させてあげよっか
?
あ、あれがしたいって言ってたでしょ
あれって?
あれはあれよ

どうせ他の人は
絶対させてくれない
だろうから
あ、あたしがそれを
させてあげるって
言ってるの・・・

戦力外のキミに
パイロットとして
期待することはない
ドン

SEELE
01
SOUND ONLY
キミに期待することは唯ひとつ
初号機パイロット碇シンジの・・・

餌となり
彼を戦わせ
続ける事だ

うう
まだなの？
ひっ
あんっ
まだだよ
まだたっぷり
残ってるよ
キュー
たっぷりって
…うう
ボゴッ
うあ
あああっ

ゾポポン
い、急ぎなさいよ
グルルル・・
もれちゃう・・・
さもないと・・・
ゴプ
駄目だよアスカこうゆうのは
ゆっくり注入しないと腸が裂けるんだから
グプ
ううっ
うそ・・
チュウー
ああっ
ゴプッ

ううっ
ふあっ
アスカにとってはただ耐えるしかなかった
だが彼女は知らなかった
あうう
ズ
うっう
ゴボ
その耐える事こそが深く重い苦しみへいざなう事を・・・
そして戻る事の出来ない深い快楽の淵に導くという事を・・・
あぁぁ
ゴボ!!

ズゴッ
ふぅ・・・
ようやく全部入ったけれど気分はどう？
ズゴッ
い、いいわけが・・・
グルッ
グルルルッ
せいぜい彼に飽きられないようにすることだな・・・
グル

いいわ
最高の気分よ
ゴロロッ
で、でも
もう駄目
限界・・・
グル
グルルル
何が
限界なの？

何って・・
ちゃんと言ってよアスカ
ちゃんと言わないとわからないよ
ちゃんとって・・
わ、わかったわ
16
グルルッ
グル
も、もれそうなの・・・
ギリッ
う、ウンコさせてぇ・・・

どこでしたいの？
どこでって・・・
せいぜい彼に媚を売るのだな・・・
・・・
こ、ここよここでしたいの
ここでするの？でも汚れるよ
い、いいのだって・・・
シンジに・・・見て欲しいの
ギュル
ギュルルル

あとして欲しい事があるの・・
ゴク
み、見ててほしいって・・
して欲しい事って?
ヒク
ヒク
は、排泄してる最中のここに

・・・を
して欲しいの
え!

そんなところ
見られたいなんて
ホントに変態だね
フッ
そ、そうなの
あたし変態なの
グルルル
だ、だから・・
ちゃんと・見てて・・
ヒク
ビク
ギュルルレ
ブ
あっ
ホオ

ブリッ
いや
いっぱい
いっぱい
ブッ
ブブ
モリ
モ
ブッ
イッ
だめぇ
止まらないぃ
おかしくなっちゃう・・・
この
あたしが

何も言わないでわかってるわ
私はエヴァに乗るしかないのよ

14歳で大学出たんだって・・・

いいわね最初っから
フル稼動最大戦速で
行くわよ

その上美人だし・・・

使徒殲滅があたしの仕事

優秀だね

ほんとすごいよねー

証明するんだ
あたしは一人でも
生きていける
あたしは一人でも強い
あたしは・・・

傷つけられたプライドは
十倍にして返してやるのよ

アスカアスカアスカアスカ
アスカ・・・

選ばれしモノ
時代の寵児

圧倒的な実力
みんなの憧れ・・・

エリート中のエリート

殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す殺す全員殲滅してやる

そうよあたしはエリート

弐号機パイロットである
このあたしが・・
02

ううぁ
あっ
んむむっ・
い、いいわ
そうそこ、あっ
そこよ
そこの
も、もっと
奥まで・・

排泄してる最中に
肛門いじってもらって
感じてるなんて・・・
んあっ
あっ
きっと夢よ・・・
グジュッ
グジュ
ジュグ
ジュグヴゥ…ッ
ジュグヴゥッ

ヒイ
ホジッ
でもそれが気持ちいいなんて・・・
ホジッ
ズッ
ブッ
あぁっ
ブッ
あたしの体が
だめ
あぁっ
ブブッ

それを求めてるなんて・・・
ああっ
ほじっちゃだめぇ・あ
嘘もっと・・

夢ならはやくさめてぇ・・・
でちゃう でちゃうぅ
ひっ
あっ すごい
もっと でちゃうっ

待つのは嫌いだけれど時間をつぶすのは嫌いではない。ただその時間をつぶすためにする事があればの話なんだけれど・・・本を読むのもいいのだけれど読みたい本があればの話してそれが毎回あるというのでもない。さらに読みたい本も無いわけではないのだけれど、あまりの楽しみにつまんない時間で読まないようにしようとしてるからなるべくなら楽しみたいと思う本はあまり時間つぶしには読みたくない。だからいつもちょっとした時間つぶしがなかなか大変だ。昔は電車の待ち時間とかゲームをしていたのだけれど、今となってはゲームはやらないゲームを楽しめない自分と言うのが存在する。なんか時間の浪費にしか思えなくなってる。娯楽であるはずのものが楽しめないというのはそれだけでなんか不幸な気がするのだけれど、何でだろう？上手い下手とか以前になんで楽しめないのかって思う。特にアクションゲームに関してはやっても何も残ってないというのが一番空しくて嫌になってしまったのかもしれない。シューティングもパズルゲームもそうだ何も残らない。かろうじてRPGに関しては得るものがあるのかもしれないが、さくさく進めないアドベンチャーもそうだ。なんかさくさく進んでいかないことにイライラする。逆に本のほうがさくさく進んで[illegible]娯楽の存在が俺のゲームの苦手意識をより加速させている。何で本を読まないのか？それは読むのが苦手だからと言うのをよく聞くのだけれど、ゲームが得意じゃないというのはそれと同じだと思う。実に単純なこれ以上ないというくらいの答えだって。ゲームをやるためにはそれを続ける努力が俺には必要なのだ。努力がいるって事を気分転換にするものなのだろうか？暇つぶしのために努力をするというのはなんかね。たった五分とか十分とかの時間つぶしなのだけれど、いつも思う上手くつぶせてないなって。それを待つ楽しみというのが出来るならもっと違った世界が広がるかもしれない。たった五分のことで何を言ってんだって思うかも知れないけれど、時間というか人生というのは続いていくものではなくて、減っていく物だって最近思うようになった。その減っていく時間をいかに有意義に使っていくかって考えるようになったというのは年取ったってことなのかもしれない。

2009.2.1 七神[illegible]

SYNCHROCORD 7.2

キンコーン
カーンコーン
キンコーン
では授業を終わります
今日のは自信作よ
それは楽しみね
ヒカリぃお弁当食べよ

特にこの
玉子焼きとか・・
ん？
どうかした？
・・・
あのふたり
なんか・・
おかしくない？
さ～？
いつもどうりと
思うけど・・・

あっ
お帰りアスカ
…
…ん？

ドス
フ～
フ～
何よファーストと仲良くしちゃって
なんかムカつく
ボフッ
…

シンジ
今からするわよ
な、何？
んん・・
クチュ
クチュ
あっ
ヌプッ

あんっ♥
だ、駄目
そこいつまでも
いじられたら・・・
ビクビク
あっそこ・・・
ヌチ
ヌチュ
うわ、こんなに
べとついてるよ
も、もう
指はいいわ・・・
だから・・・
シンジの
チンポ・・・
トロッ

あたしのオ〇ンコに頂戴・・・
ぱっ・・
くっ
じゃあこっちにケツ向けろよ
ズリッ・・
あっ
モミュ
あんっ
モミ
んあっ

ああっそこの
奥がいいの、
あああっ
ズン
あたしは仕方なく
抱かれてるだけ
なんだから・・・
ズブ
ズブ
いいい
ズ
ズブ
本来なら誰が
こんなさえない
やつと・・・
ああ
あっ

ヌチャ
グチャ
ファーストなんか
気にしてないんだから・・・
ああっ
いい・・
やきもちじゃ
ないんだから・・・
ズヴ
ズッ
そこよ
そこが・・
ズッ
ああっ
だめぇ
あたしはパイロットを
続けるために・・・
うあぁ
ズッ
ズッ

ずぼっ
ずぼっ
すごいイ
奥に奥に・・
んあっ
ひっ・・
ふああっ
ずっ
シンジに従ってる
だけなんだから・・・
ひぅ
ああっ
ぼっ・・
シンジの
おちんちんが
ああっ
ずぶる・・
ずぶ・・
でも・・
ズン
ひいっ

ドキュ
あっ・・来る
はっい・イっ
ぶぢゅん
ぱちゅ
ビク
気持ちいい・・・
ビク
・・あっ
ビク
ビク

もっとお尻
上げてよアスカ
あんっ
そんな
がっかないで
こう？
これでいい
もう・・・
またするの？
あっ
まだだよ
まだもっと
こう・・
くい・・
ズグブ
ちょちょっ
待って・・
やっ
ズッ

ズボッ
ズボ
ドッ
そんなに激しくしたら・・
だめっ
ふひっ
ジュプ
ジュプ
んはっ
ズン
ダメだめぇ
ズン
ああっ
ずちゅずちゅ
がぼ
イク・・いっちゃう
ふあっ・・そこすごい
うぅっ
がぼっ
ずぶぶ

いやお尻ダメ
そこ今
いじったら
ああっいい
イクわ・・
ひあっ
47
ふうっうあっ
だめえ・・
ひっ
あっ
んあっ

…っ
ふぅっ
あんっ
はぁぁ
はぁ
もう許して
もう無理…
あっ
にゅ…
ふぁあっあっ
ああっ…
ズドッ
ドッ!!

ああっ駄目
お尻の穴それ以上いじらないで
ひあっ
あっ
駄目ぇ深く掘っちゃあっ・・
おかしくなっちゃう・・・
来るわ来るすごいのが来る・・・
んはっ
あっ・・

んはあっ・
あぁぁあ
ズ
ググ
ど
ぷ..

ふあっ
ああっ
あっ
駄目え
もう駄目
もうだめよぉ
んあぁぁ
そんなに
乱暴に
したら・・
ひっ
ああっ
ビク
ビクク
こんな事に
なるなんて・・・

あたしの
存在理由は・・・
ああ
すごいっ
あっ
アスカの
おっぱいは
揉めば揉む
ほど・・
だめぇ
でも・・・
ズン
ズン
はあっ
あぁ
ズン
シンジをあたしの
身体に溺れさせて
戦わせること・・・
いやぁ
感じるの
すごいの・・
ズグ

シンジのおちんちん凄すぎるぅ・・・
ああ、そこよそこっ
ズリュ
そうじゃなくなってる・・・
ズグ
ヌリュ
もっとよもっと突いて
ズクッ
あたしの中に来てもっと奥にぃ・・・
びゃ
おくにぃ・・・
くん
あたしの肉体に溺れさせるはずなのに・・・

凄いオマンコが
あたしの
マンコが・・
このあたしが・・・
ズレ
シンジ
なんかに・・・

ぬりゅんっ
ドムッ
イキそうよ
イキそうなの
もうイクっ
イクの・・・
シンジに・・・
来るわ
また来る
すごいのが・・
ドンッ

溺れてるなんて・・・
逝くうう あっううっ

to be continued・・・

思いついたことを一瞬でもそのままにして置くと一気に忘れてしまいます。ど忘れにしては酷いなたった一瞬前の事なのにもう忘れてるのには飽きれます、なんて馬鹿なんだなんでこんなに記憶力が悪いのだろうって考え真剣に悩んだ事があります。それで至った結論というのは・・・。俺は書きたいことを文章にしてる時一つないし二つくらい言いたいことを考えながら文章を作っているのですが、その文章を考えてる時にふと思いついた別の事でまったく話の本線から脱線してしまうような事がものすごく好きなのです、まあ当然なのかも知れません。書きたいことを書いてる最中にもっと書きたい事が出てきてしまいそれを書く事が好きというのは、思考の中で一本道だって思っていた事が実は分岐が出来て、そこにあえて進んでいく事がホントに好きで、そこに頭を使ってるのがものすごく幸せなのです。ところが会話の最中にはそんな事はめったにありません、言葉にした瞬間、脱線した瞬間に本線の話の筋が消えていくので何が話したかったのかわからなくなってしまい、つくづく記憶力の無さを痛感します。それで一つの事しか俺の脳みそは考えられないと実感します。俺の脳は考えるためにフル回転させるときに一つの事以外はいっさい忘れる努力をしてるものだって思うのです。林檎について考えていたのに途中で蜜柑のこと思ってしまいその考えを同時に煮詰めていく、ミキシングしていくとそれは俺の場合林檎ジュースと蜜柑ジュースにはならないで混ぜてしまった物になってしまうのです。つまりフルーツジュースに。文章だと文字としての爪痕が記載されてるので、ある程度脱線した話で本線のこと完全に忘れて自分で盛り上がったあと読み直して本線に戻る事が出来ます、脳みその中では出来ないのですが文章だとこれが出来るので、これがものすごく好きだからこそ文章を書くのは嫌いではないです。だから日記のような感じでよくスケッチブックに長い文章を絵の横とかにとにかく書いているのですが、読み返すとなんだこのまとまりのない文章は？、何が言いたいのかさっぱりだって自分で飽きれる事が多々あります。でもこの突然の分岐の仕方はそこでなんで突然そう思ったのかというのがちゃんと読み取れる、閃きの過程がそこにはあるので読んでいて面白いのですがつくづくグズグズの文章になってます。忘れないように記憶し続ける事が一番なんだって、勉強してる学生の時は思っていました、記憶力が良いやつがもっとも優秀な者だって。でも今は忘れる事が大切なのかなって思っています。他に優先すべき考える事が閃いた時に今まで考えていた事を忘れる事でその思いついたことを深く考えぬいて行く、そのために混ぜないように今まで考えていた事を忘れるためにメモを取るようにしたのですが、これをすると一つ一つのまったく別のことに関することの考えがものすごく深くなってるので逆に忘れないようになってるのを今更ながら実感しています。「忘れる努力」が「忘れない努力」につながってるというのは皮肉というか、だから今は思ってます。忘れる事はなかなか悪くないと。

無駄を無くしたい、とにかく無駄なことが多すぎだ。昔よくしていたのがお腹がが減ったからって素の豆腐をそのまま醤油をかけて食っていたことがある。お腹を満たすためだけに食っていたというのがよくあった、何て言うか食事をしてるのではなくただ食ってるだけ栄養補給してるだけそこには楽しいとか嬉しいとか美味しいとかない、そんな食事なんて無駄としか言いようがない、それでぶくぶく太っていった時期があった。とにかく反射で食っていた記憶がある。その結果元の体重にもどすのに運動とかの努力をしなければならなくなって無駄な時間を使った。テレビをボーっと見るのも最近無駄だなって思う、昔に比べると見てる時間は減ったのだけれどそれでも見てるテレビドラマの再放送とか、本放送を見たことあるのに、また見てるのが物凄く無駄だなって思う 内容とかわかってるのに結末とか知ってるのに見てしまう、そこには得るものがないのにただボーとしてる 暇なんだなって思う、するべき事やるべきことは沢山あるのにやってないから暇なんだって思い知る、無駄なことをする時間があるというのはそれだけ暇なんだなって、そうか俺には暇があるのなってそれで気付く、無駄な事を出来る時間があるというのはそれだけ時間に関してシェイプできるということなのかもしれない。ボーとしてるただ生きてるだけ、いや生きるためだけの反射の作業、その無駄を極力削り何かに追われる様な生活に憧れてるのかなって思う、今日この頃です。

2009.2.1七神優

「VANISHING HEARTS」
全バックナンバー
ダウンロード
販売中

詳細は・・・
ホームページにて
七神優ホームページ
「SEVENGODS!」
http://www2.tbb.t-com.ne.jp/
nanagami/index.htm
VOL3
VANISHING
動き始めた時間
そう思ってきた
だけど

待つのは嫌いだけれで時間をつぶすのは嫌いではない。ただその時間をつぶすためにする事があればの話なんだけれど・・・本を読むのもいいのだけれど読みたい本があればの話しでそれが毎回あるというのでもない、さらに読みたい本も無いわけではないのだけれど、あまりの楽しみにつまんない時間で読まないようにしようとしてるからなるべくなら楽しみたいと思う本はあまり時間つぶしには読みたくない。だからいつもちょっとした時間つぶしがなかなか大変だ。昔は電車の待ち時間とかゲームをしていたのだけれど、今となってはゲームはやらないゲームを楽しめない自分と言うのが存在する、なんか時間の浪費にしか思えなくなってる、娯楽であるはずのものが楽しめないというのはそれだけでなんか不幸な気がするのだけれど、何でだろう？上手い下手とか以前になんで楽しめないのかって思う。特にアクションゲームに関してはやっても何も残ってないというのが一番空しくて嫌になってしまったのかもしれない、シューティングもパズルゲームもそうだ何も残らない、かろうじてＲＰＧに関しては得るものがあるのかもしれないが、さくさく進めないアドベンチャーもそうだ。なんかさくさく進んでいかないことにイライラする。逆に本のほうがさくさく進んでいけるからよりよい娯楽の存在が俺のゲームの苦手意識をより加速させている。何で本を読まないのか？それは読むのが苦手だからと言うのをよく聞くのだけれど、ゲームが得意じゃないというのはそれと同じだと思う、実に単純なこれ以上ないというぐらいの答えだって。ゲームをやるためにはそれを続ける努力が俺には必要なのだ。努力がいるって事を気分転換にするものなのだろうか？。暇つぶしのために努力をするというのはなんかね。たった五分とか十分とかの時間つぶしなのだけれど、いつも思う上手くつぶせてないなって、それを待つ楽しみというのが出来るならもっと違った世界が広がるかもしれない、たった五分のことで何を言ってんだって思うかも知れないけれど、時間というか人生というのは続いていくものではなくて、減っていく物だって最近思うようになった。その減っていく時間をいかに有意義に使っていくかって考えるようになったというのは年取ったってことなのかもしれない。

2009 2.1 七神優

ホームページアドレス
http://www2.tbb.t-com.ne.jp/
nanagami/index.htm
ご意見ご感想はこちらに
ic110187-5974@tbi.t-com.ne.jp

誌名 「SYNCHROCORD 7」

発行日 2008年11月30日

発行元 SEVENGODS!

作画 七神優

印刷所 ねこのしっぽ

ホームページアドレス
http://www2.tbb.t-com.ne.jp/nanagami/index.htm

ご意見ご感想はこちらに
ic110187-5974@tbi.t-com.ne.jp

SEVENGODS!
COMICS 2009